



## 湊水の子の素敵なあいさつを支えているもの

ゴールデンウィークが終わり、新年度も1か月間が経ちました。4月、5月は、学校へ来られるお客さんが多い時期です。先日も数日に渡って休み時間、掃除の時間を問わずお客さんが来校されました。その折に通りすがりの子どもが幾人もいました。私が湊水の子のあいさつのすばらしさを感じたのは、高学年のHさん、Sさん、Kさんでした。

何がすばらしいか…。お客さんと目をつないで心を込めてあいさつをしている。いえ、それよりも注目すべきは、親しみある、屈託のない、自然なあいさつをする姿です。見ている私はとても温かい気持ちになりました。お客さん方も肩の力を抜いた自然なあいさつをする湊水の子どもたちに驚いていました。

なぜ湊水の子は、そのようなあいさつが出来るのでしょうか。

子たちは来校される方は学校や自分と関わりのある人であるという認識をし、その方々に心を開いて接しようとしています。この心の動きは、一朝一夕で形成されるものではありません。幼少期から今に至るまで、家庭や地域における経験が大きいと思います。近所の人と日々あいさつをしている習慣もあるでしょうが、湊水の子は、自分の周りの大人を心から信頼しているのではないのでしょうか。だからいつも自然体でいることが出来るのです。釜ヶ湊の皆様感謝しています。

文責 高野

### お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の流行について、予断を許さない状況が続いています。引き続き、感染予防に気を付けて生活していきましょう。なお、感染状況により、行事予定を変更することがあります。よろしくお願いいたします。
- ・学校のホームページで、子供たちの活動の様子をお知らせしています。どうぞご覧ください。



QRコード

朝の様子より

あさがおさん、どんなめが出るかな。



気持ちのよいあいさつの声が響いています。



青空の下、体力づくりに取り組んでいます。